

## 台湾との幅広い交流を促進

福岡県商工部国際経済観光課

### 1. はじめに

古くから福岡県は、アジアとの交流の窓口として栄え、アジアの発展と共に成長してきました。

中国、アセアンなどのアジア諸国が近年大きく成長する中、本県が今後も持続的に発展していくには、成長・発展著しいそれら地域の活力を取り込み、お互いの強みを生かした協力関係を築くことが重要であります。

このような考えのもと、本県では、アジアの3か所（上海、香港、バンコク）をはじめ海外5か所に事務所を設置し、県内企業の海外ビジネス支援、海外企業誘致、観光客誘致など、積極的に活動しています。

台湾との経済交流にも力を入れており、交流協会の台北事務所に地方自治体としては唯一、研修員を派遣しています。また、本県には台湾との交流窓口となる台北駐福岡経済文化弁事処や両地域の貿易経済交流を促進する台湾貿易センター福岡事務所が設置されており、これらと連携し、両地域の幅広い交流を促進しています。



<福岡県留学生サポートセンター HP より>

次章では、これまでに本県が行ってきた台湾との取り組みについてご紹介します。

### 2. これまでの福岡県の取り組み

#### (1) 知事訪問によるトップセールス

本県では、台湾とのより一層の経済交流強化をめざし、平成20年度、平成22年度と2度知事が訪台し、台湾でのトップセールスを実施。平成20年度は当時の亜東関係協会の陳鴻基会長、三三会の辜濂松理事長、江丙坤最高顧問をはじめ台湾経済界幹部との会見が行われ、福岡県・日本と台湾の経済交流を一層発展させることが、東アジアの安定に寄与するという共通認識が得られました。

また、平成22年度には、馬英九総統との会談で、両地域の一層の経済交流の推進について確認するとともに、県商工部と台湾の中小企業処との間で、両地域の中小企業経営者の交流促進に関する書面を取り交わしました。

#### (2) 福岡県企業と台湾企業とのビジネスを促進

本県は、県内企業と台湾企業のビジネス交流を後押しするため、以下の取り組みを行っています。

前述の中小企業処との書面の取り交わしにより始まった「福岡県・台湾中小企業経営者交流プログラム」は、平成23年度に「環境」をテーマに実施。台湾から中小企業経営者など15名が福岡に訪れ、5日間にわたって座学研修や福岡県内企業の工場見学を行い、最終日には県内の関連企業38社54名が参加して交流会を行いました。本年度は、「デジタルコンテンツ」をテーマに実施を予定しています。

また、本県は、今年1月、新たに海外展開を目指す中小企業に対する情報提供から現地サポートまでのワンストップ支援を行う「福岡アジアビジ

ネスセンター (<http://f-abc.org>)」を開設しました。台湾とのビジネスに関する相談も多く寄せられており、県内企業が台湾企業に蓄電池の生産委託をするなど、実際に取引に結びついた成果が出ており、今後も多くの台湾企業との連携が期待されます。

### (3) 台湾ビジネス界の幹部候補生受入れ

台湾貿易センターは国際ビジネスにおける即戦力の育成を目的として、国際企業人材育成センター (ITI: International Trade Institute) を設置し、卒業生の多くが台湾のビジネス界で活躍しています。このため、ITI は台湾企業だけでなく台湾に進出している外資系企業からも注目されており、卒業時には求人倍率が 10 倍近くになるほどの人気です。

この ITI が実施するクラスの一つ、「国際企業経営班」は 2 年間の全寮制で、貿易理論や実務に加えて語学の教育に重点を置いています。日本語を選択した日本語組の学生は学校で学んだことの集大成として日本国内での企業研修を実施しています。

本県では、台湾貿易センター福岡事務所と連携し、平成 15 年度からこれまで福岡県内企業 (のべ 163 社) が 210 人の研修生を受入れています。企業研修修了後も受入企業や福岡県との繋がりを継続させていきたいと考え、平成 19 年 10 月に「福岡・台湾経済人クラブ」を設立し、毎年台湾において交流会を開催しています。

### (4) 農産物の輸出促進

福岡県産農産物は、海外でも高い評価を得ており、台湾にも輸出されています。現地量販店では、販売促進フェアを開催し、その美味しさや品質の高さを現地消費者に広く PR しています。

また、現地バイヤーを本県に招き、産地視察や商談を実施する等販路拡大にも努めています。

このような取組から、県産農産物の人気は台湾でも高く、特にいちごの「あまおう」やキウイの「レインボーレッド」は、高い評価を得ています。

### (5) 観光振興

福岡県は台湾との定期直行便が週 56 便 (片道 1 便として計算) 運行しており、台湾から毎年多くの観光客を迎え入れています。平成 23 年には約 7 万人のお客様にお越しいただきました。

台北や高雄では、九州各県と経済界が一体となって設立した九州観光推進機構が、九州の豊かな自然や温泉、各地の郷土料理といった豊富な観光資源を PR しています。本県ではそれに加え、毎年 3 月に開催される「福岡アジアコレクション (FACo)」をメインコンテンツとして、ファッションや美容などに関心が高い若い女性をターゲットに、オシャレな福岡県を積極的に PR しています。

教育旅行誘致にも力を入れており、日本政府観光局と交流協会が開催する訪日教育旅行説明会や座談会に参加して、県内に集積する産業観光といった教育旅行に適した素材情報を台湾の先生方に提供しています。加えて、県教育委員会と連携して、両地域の生徒同士の交流を拡大させていきたいと考えています。

今後も観光を軸とした人的交流が更に促進されることが期待されます。

### (6) 留学生支援

本県では東京、大阪に次ぐ 9,000 名を超える留学生が学んでいます。優秀で若い留学生が福岡に集まり、卒業してからも福岡に残って活躍してもらったり、あるいは福岡県とのつながりを持って世界で活躍していただきたいと考えています。

そこで、福岡県では、留学生が安心して勉学に打ち込めるよう、経済界と大学、行政が一体となって、留学生を総合的に支援する「福岡県留学生サポートセンター (<http://www.fissc.net>)」を設置



し、優秀な留学生を本県へ誘致するための広報、リクルート活動をはじめ、留学生の生活相談、アルバイトの紹介、就職のサポートなどを行っています。

### (7) 若者文化の発信

台湾をはじめとするアジアでは、アニメや音楽、ファッションなど日本のポップカルチャーが支持されています。福岡県ではポップカルチャーを通じてアジアの若者同士の相互理解を図るためのウェブサイト「アジアンビート (<http://asianbeat.com>)」を開設。アジアの若者達に向けて日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、ベトナム語、タイ語の多言語でポップカルチャーに関する情報を発信しており、昨年度のアクセス数は1,117万件に上っています。

### 3. 今後の展開

本県は、台湾と、貿易、投資、観光に加え、文化、人材交流など幅広い交流を行っています。

特に経済分野は、台湾と中国の間で2010年9



月に経済協力に関する枠組み協定である「兩岸経済協力枠組協議」(ECFA: Economic Cooperation Framework Agreement) が締結されたことにより、アジアにおいて台湾の重要性が今まで以上に増すのではないかと考えています。

福岡県では、今後も台湾との幅広い交流を活かして、成長・発展著しいアジア諸国・地域の活力を取り込み、地域の発展につなげていきたいと考えています。